

No. 32	昭和47年10月1日発行 編集者：後藤光男
ねじればね	592 大阪府高石市高師浜2丁目4-4 電話(堺)0722-61-5374番
	日本甲虫学会 658 神戸市東灘区御影町天神山46
October, 1972	

標本箱額縁の作り方

後藤光男

昆虫にまったく興味のない人でも室の飾りに蝶額が欲しいとよくいわれる。私はこれまでに自己流の仕様で標本箱に額縁を取り付けて蝶額の数個を作った。最近知人の依頼で志賀昆虫普及社より蝶額を買求めその仕様を知ったが、私の自己流とよく似ていた。志賀製ではガラス張の額縁箱にポリホーム敷の中箱をはめ込み止金具で固定する仕様であり、私のはガラス蓋標本箱をそのまま額縁にはめ込む仕様である。私の仕様は標本箱と額縁とは別々なので、展示標本を取替えずとも標本箱の取替えだけで展示内容を変えることのできる利点がある。制作中数々の欠点を補って改良を重ねたので出来具合は割合よいと思っている。日曜大工の心得があれば簡単に作れると思うので、その作り方を紹介してみたい。

使用標本箱：インロー硝子蓋式標本箱（志賀昆虫普及社カタログNo.25、428、特大形、 $40 \times 30 \times 6\text{cm}$ ）。

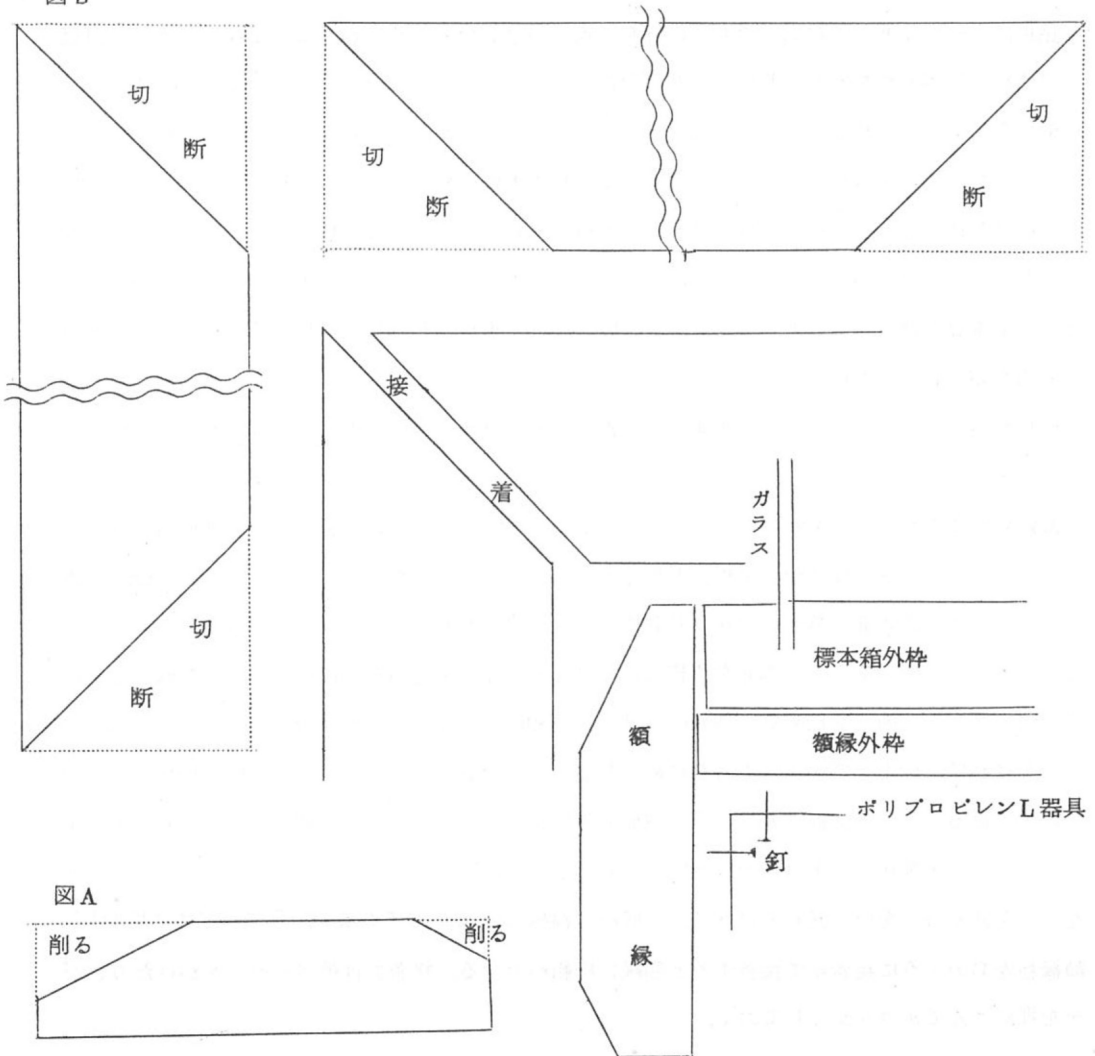
額縁用材：ラワン板、額縁用 80 （巾） $\times 900$ （長） $\times 15$ （厚） mm 、2枚、外側用 85 （巾） $\times 900$ （長） $\times 8$ （厚） mm 、2枚、L型止具（ポリプロピレン製） $12 \times 12 \times 900\text{mm}$ 、2本。

作り方：まづ標本箱の外側の寸法より各 1mm 、づつ余裕をもたせて、標本箱が無理なく出し入れできる木枠を作る。（2）標本箱を外枠にはめ込んだまま一方を三角形に切り込んだ額縁板の上に置き片方の三角切断点を決める。額縁の内寸と標本箱のガラス面の寸法とが等しくなるよう内寸を決めなければ、仕上げてから標本箱をはめ込むと上下・左右のどこかに標本箱の枠板が見えてまづい結果になる。（3）額縁板はAのように内側と外側をカンナで削って立体観をもたせておいてもよく、平板のまま額縁を仕上げ最後に紙粘土（新聞紙を長時間水に浸しドロドロにして糊を混ぜる）を内側を薄く外側を厚く盛りあげたり、又好みの模様貼り付けてもよい。両端を三角に切断した額縁板をBのように接着剤で接着すると額縁の枠組ができる。接着面は紙ペーパーをかけたり、パテを埋めこんでボロをかくしておく。

(4) 標本箱をはめ込んだ外枠に額縁を重ねる。上から見て標本箱の外枠がまったく隠れる位置が額縁の固定位置で、額縁裏側の外枠接点全部に印を入れる。これがL型止具の位置となる。(5) L型止具を外枠の外寸に合わせて切断し、前もつて釘穴をあける。止具はまづ外枠に釘付し、額縁への固定前にもう一度額縁内寸とガラス面の寸法とが等しいかどうか確認した方がよい。止具の接着面に強力接着剤を使うと固定はより強力になる。

これで額縁は出来上がったので、もう一度紙ペーパーをかけ最後の仕上げをする。ニス塗の場合はトノ粉で木目を滑かにした方が塗上りがよく、ペイント類は重ね塗りする。標本箱の裏側があいいているので、ボール紙を画鋏止めするとゴミの入ることも少ない。初期の作品では外枠の一方を固定せず捻子釘で外枠を取り外し自由にし、裏側をベニヤ板で覆つて、丁度紙芝居の舞台のように作つて見たが、ここに紹介した仕様の方が作り易い。

図 B



仮製本の仕方

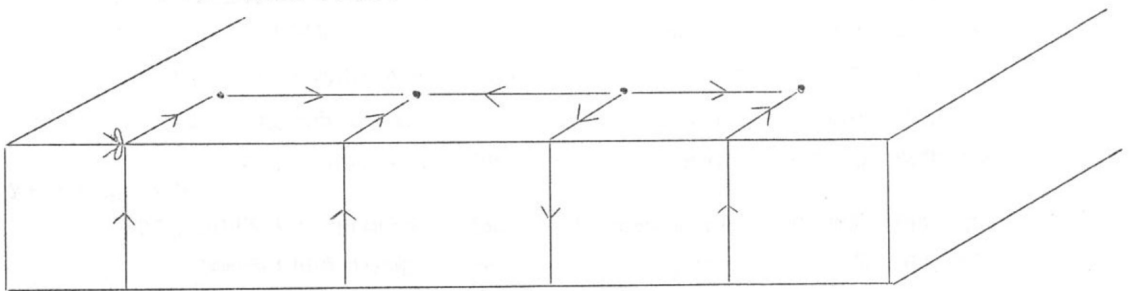
後藤光男

学会・同好会の機関誌がたまつてくると整理に困るものである。本製本させればよいのだが、製本代が会費以上につくから馬鹿にならない。頁数があるか頁数は少ないが模造以上の紙質のものはよいが、4～8頁位でザラ紙の印刷物は始末におえない。長月日たつと紙質がもろくなつて取扱いが不便になる。これまで号数順に紐で束ねるかファイルに差し込んで整理をしている。市販で穴をあけずにヘアピン様の留金で固定するファイルが整理に便利である。ただ余程うまくファイルする分量と巾を考えないと反つて場所をとり、又留金が錆びる欠点がある。私はこれまで自分で数十冊をつぎの要領で仮製本して見たが、割合よい出来ばえと自己満足している。

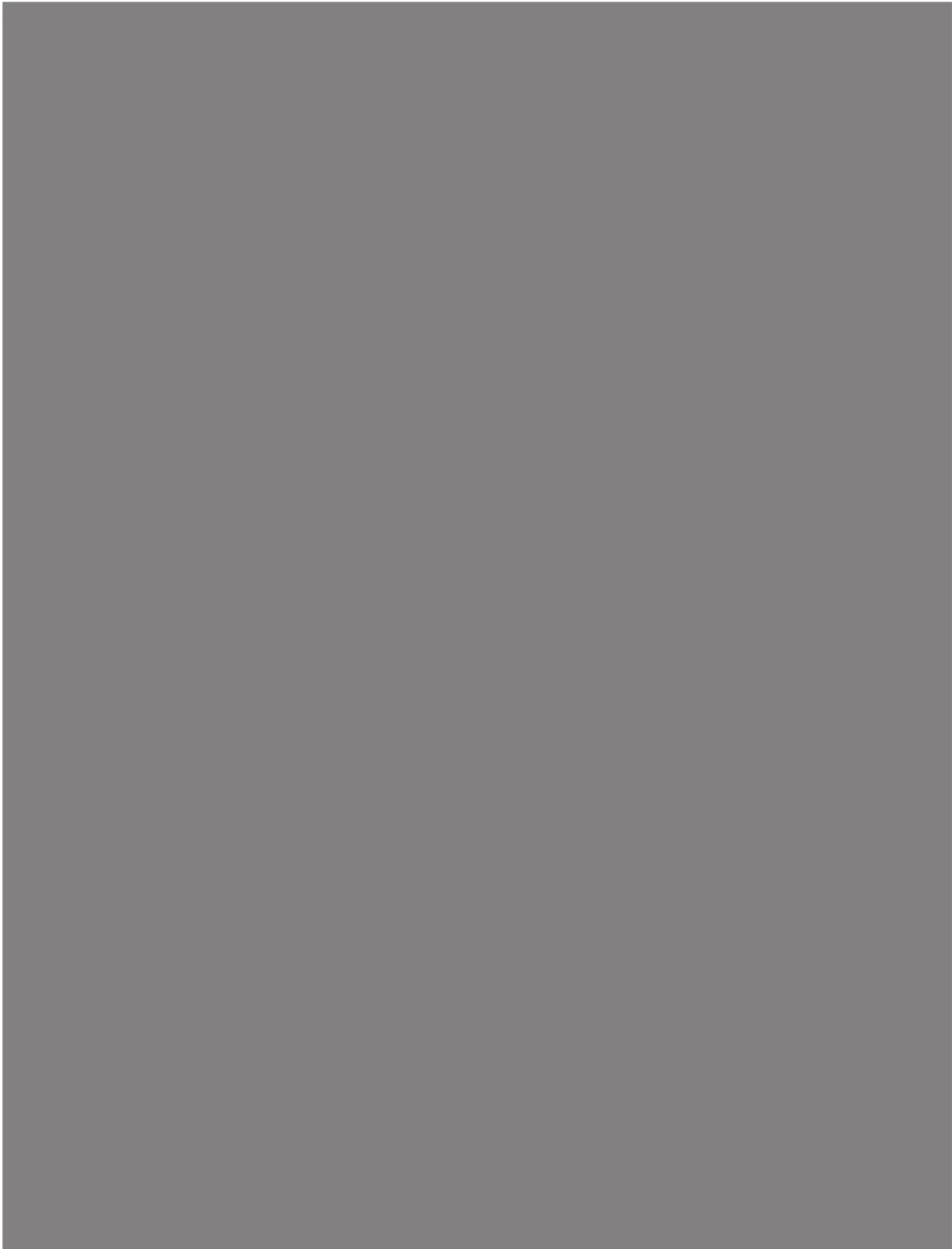
用具： 7種大クリップ数個、針金（ごく細いもの）、タコ糸、木綿布片、色模造紙、表紙、糊、穴あけ器（ハンドルの半回転操作によつて穴のあく事務用）。

仕方： まづ号数順にならべ落丁の有無を確かめて、3折図版がある場合は更に奥に折りこみ総目次は一番前に、途中の巻数を示したい時には同寸大の色模造紙を差し込む。各冊の表紙は必要がなければ外した方が製本後内部が開きやすい。（2）各冊のホッチキス針を取り除き、下部と背部を除く方をクリップでとめる。（3）あらかじめ決めた位置に穴あけ器で糸穴をあける。糸穴はクリップでとめる前に印しておいた方がよく、背部から1cmでA5で3・5・5・5・2.5ぐらい、B5では4・6・6・6・3（いずれもcm）の間隔が適当である。（4）針金を2折にしてタコ糸を通し糸穴を縫いつける。縫い終れば糸のたるみを確認、たるみがあれば締めあげる。（5）クリップを外せば一応製本は終つたが、背部の補強に背巾だけ木綿布片を糊付する。私は印刷屋の好意で背糊を試してみた。これは東ドイツ製のもので速乾性であつて便利だが、特殊洗剤を用いないと塗ハケが駄目になるので反つて不経済と思われた。（6）背・下部は揃っているが他は揃っていないので、出入の印刷屋に不揃いの部分を裁断させる。（7）好みの表紙を被せ背部に雑誌名・巻号・年代を書きこめば仮製本は仕上る。私は背部に号数大の活字で内容を表示しているが仲々見事である。

（タコ糸のかけかた）



新 入 会 員





復 活



住 所 変 更





改 名



申 告 退 会



認 定 退 会



<標本用ラベル新製品>

見本請求・問合せ・ご注文は後藤まで

本誌の30号にて縮尺見本を添付して紹介しましたが好評でした。新しく次の3種を用意しましたので精々ご利用下さい。

- ・M 属種兼用 2×4.5 (cm) 枠入り中に線なし。
- ・N " " 2×4.5 (cm) " 下線より0.5 (cm)上に3.5 (cm)の横線入り。

いずれも1枚5片、1枚5円

M・Nとも展示標本用で、ポータブルタイプライターにて学名を打ち込めるよう下部に余白がとつてあります。

- ・O 台湾産標本用 0.5×1.2 (cm)、二重枠内にFORMOSA字入り、
1枚50片、1枚10円

L任意表示用ラベルにFORMOSAの字を入れました。台湾産の標本は遠征された方以外の標本はデータが不明で頭をなやまします。下部に余白をとつてありますから、判る範囲の産地・日付の書き込みが可能です。

<バッチ・ネクタイピン>

25周年記念品

昨秋大阪での日本昆虫学会大会期間中懇親会をもちましたが、席上当会の25周年記念品として「バッチ・ネクタイピン」を被露しました。若干数残余がありますからご希望がございましたら、お申越下さい。

バッチ・ネクタイピンとも同一図柄。楕にセダカテントウムシダマシを配し、J・C・S、25、及び甲虫の4紋は金メッキ、他は銀メッキで楕内イブシ銀メッキ。

バッチ・ネクタイピンで1対ですが、別々のご要望でも構いません。

2ヶ1組 1000円、〒50円、定額小為替+切手でお送り下さい。(別々の場合は500円+50円です)。

昆虫学評論第25巻の会費を払込み下さい

本号(第24巻第1・2号)でほとんどの会員は会費切れになります。同封の振替用紙により、なるべく早くお納め下さるようお願いいたします。

振替口座番号 大阪39672番

加入者名 日本甲虫学会

第25巻の会費は1000円(据置)です

昭和46年度収支決算書
自昭和46年 1月 1日 至昭和46年12月31日

収 入 の 部		支 出 の 部	
会 費	310,421円	印 刷 費	577,800円
バックナンバー代	62,750	通 信 費	55,810
別 刷 代	12,550	消 耗 品 費	630
大 会 々 費	71,680	大 会 費	84,838
原色昆虫図鑑印税	105,929 [※]	幹 事 会 費	8,280
雑 収 入	26,595	雑 費	2,410
前 期 繰 越 金	664,304	次 期 繰 越 金	524,461
合 計	1,254,229	合 計	1,254,229

※ 会報発行基金として現在までに繰入れられた印税合計 111,976円

特別会計収支計算書

(会報発行基金)

昭和46年 1 1 前 期 繰 越 金	609,797
3.26 金 銭 信 託 収 益 金 (45. 9/26~46. 3/25)	2,988
5.20 30万円貸付信託収益金 (45.11/20~46. 5/19)	8,964
6.20. 20万円 " " (45.12/20~46. 6/19)	7,470
9.26. 金 銭 信 託 収 益 金 (46. 3/26~46. 9/25)	1,526
11.20. 30万円、10万円貸付信託収益金 (46. 5/20~46.11/19)	12,699
12.20. 20万円 " " (46. 6/20~46.12/19)	7,470
12.31 次 期 繰 越 金	<u>650,914</u>

——— 評論の原稿をお寄せ下さい。 ——— どんどん消化 ———

ここ2・3年来活版・タイプを問わず印刷費がすさまじい高騰をつづけて、会費値上げに踏切るとすでに印刷代が先を越しているという状態です。この夏これまでよく訪づれた奥高野の荒神岳に出掛けましたが、1昨年まで荒神社から立里への原生林の細道は境内が通行できないのに見事に2~4車線の自動車道にひろげられていました。又削りつた土砂は谷に落ちて下草を埋めつくし、土砂の中にブナの巨木が立っていました。

最近奈良公園での採集が自然保護の名においてこれまでより以上にきびしくなつたと聞きます。しかしいつか見た超低空で薬剤を撒くヘリコプター、薬剤によつて春日奥山原生林を含めた奈良公園が淡雪を覆つたよう薄く白ずんでいたと思ひあわせ、なにもかも変な世の中になつたものです。 (N・M)

——— します。分類・生態・分布いづれでも ———